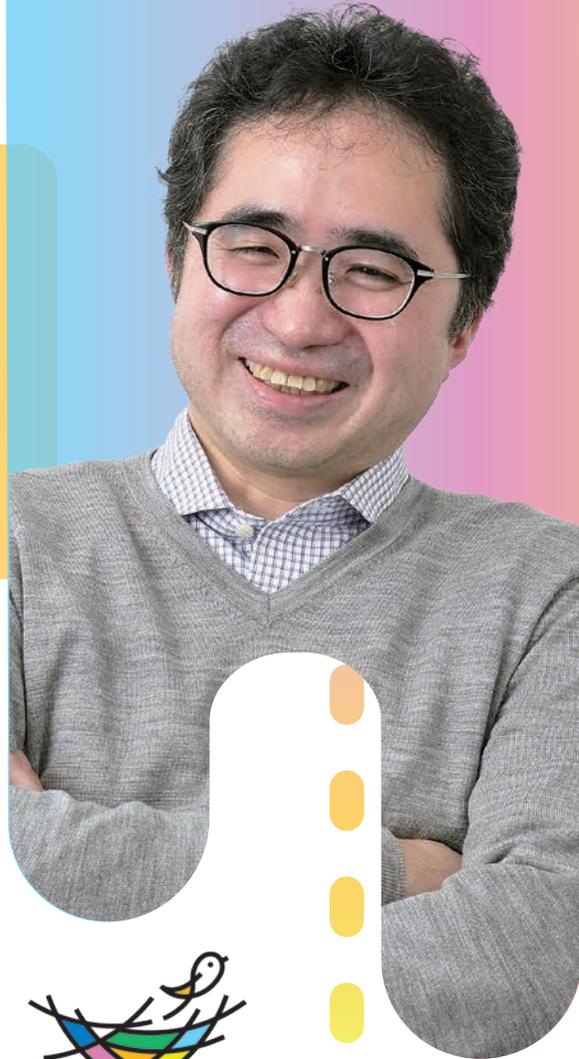


**F-REI will change the world,
creating a bright future
from Fukushima**



福島国際研究教育機構 (F-REI: エフレイ)
Fukushima Institute for Research, Education and Innovation
〒979-1521 福島県双葉郡浪江町大字権現堂字矢沢町6-1
TEL: 0240-41-9952 | E-mail: info-jinjika@f-rei.go.jp | <https://www.f-rei.go.jp>

WEBサイト



YouTube



X



Facebook



メルマガ登録

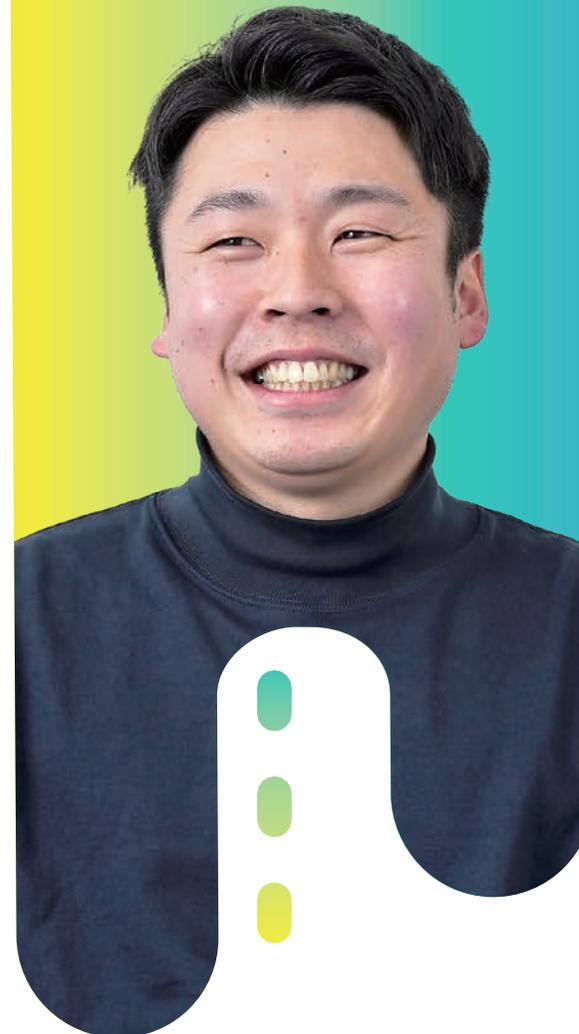


F-REI

福島国際研究教育機構
Fukushima Institute
for Research, Education
and Innovation



職員採用案内 2026 Recruitment Information



福島からはじまる未来 F-REIが世界を変える

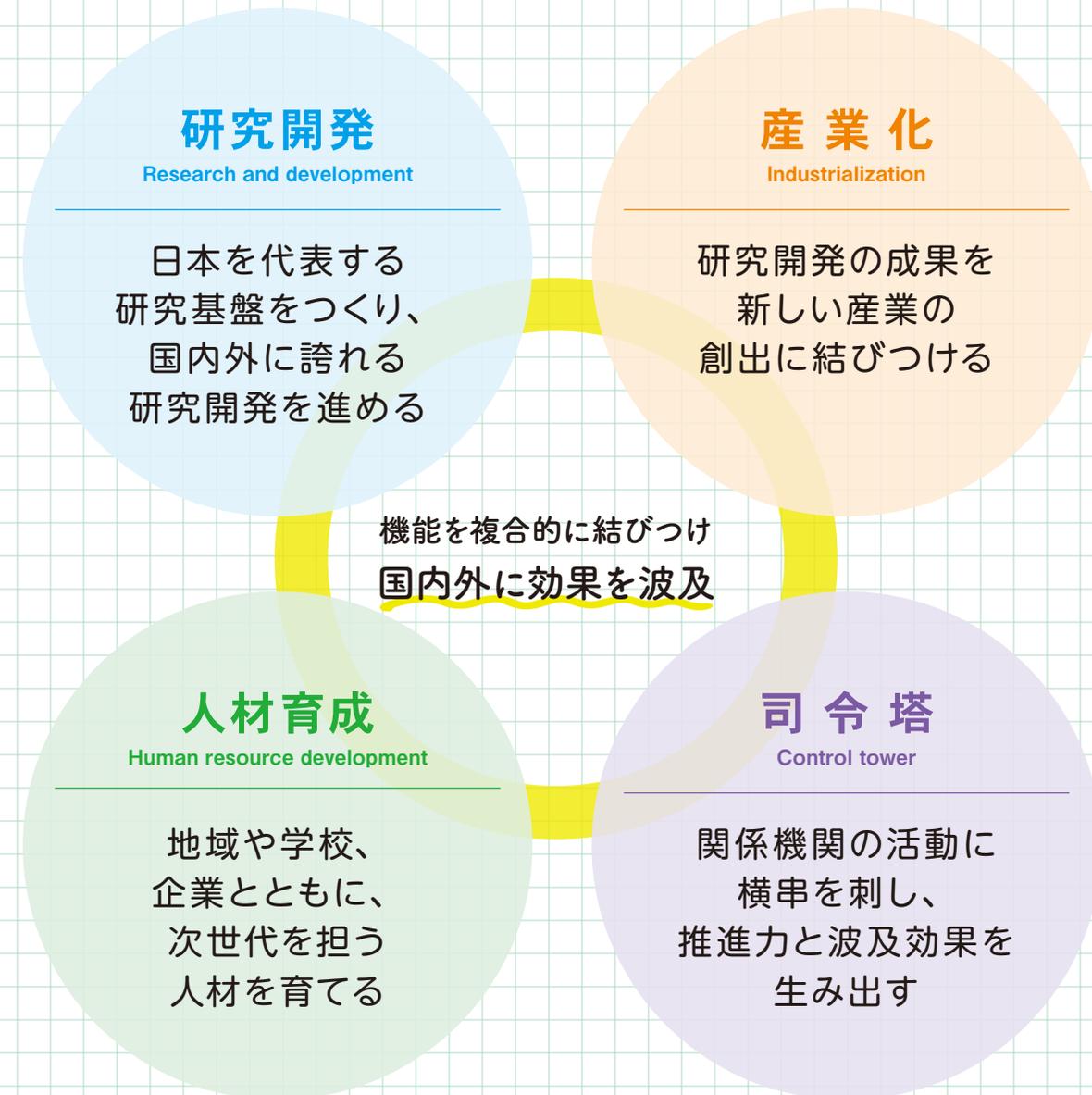
F-REIとは？

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

福島国際研究教育機構（F-REI：エフレイ）は、福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるものとするとともに、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指しています。

F-REIの持つ4つの機能

F-REIは、「研究開発」「産業化」「人材育成」「司令塔」という4つの機能を併せ持っています。そして、これらの機能を複合的に結びつけることで、福島・東北の課題を解決へ導くとともに、研究成果から生まれるイノベーションを活かして日本の産業競争力を世界最高水準に引き上げ、国内外に効果を波及させていきます。



5つの研究分野

世界でも類を見ない複合的な災害を経験した福島だからこそ、優位性を発揮できる研究があります。F-REIでは研究分野を5つ定め、世界トップ水準の研究開発を実施していきます。

ロボット分野

耐放射線性、耐水性、耐熱性などを備えた**高機動性**を有するロボットの開発、**自律制御**、**群制御**などを実現するための**知能化研究**、生物がもつ感覚機能などを高める機能拡張研究などを行う。それらの成果を活用して、廃炉や災害時、宇宙空間などの過酷環境下で稼働できる**高機動性ロボット**の開発、高ペイロードで長時間飛行が可能な**高機能ドローン**の開発、**自律移動型ロボット**の開発などを推進する。

農林水産業分野

農林漁業**作業の完全自動化・ロボット化・スマート化**などによる超省力化・超効率化と、森林資源の有効活用などにより**多収益・大規模モデル確立**によって地域循環型経済モデルの構築を目指す。一方で、RITレーザー活用による**品種改良**、**有機栽培**、**土壌改良**に関する基礎研究を推進する。

エネルギー分野

福島を日本のカーボンニュートラル先駆けの地とするために、**再生可能エネルギー**を中心に、**エネルギー製造**、**貯蔵**、**輸送**、**利用**に関わる研究開発を行い、そのなかで社会実装を目指しての**リスク評価**、**法規制**、**技術基準の策定**なども課題とする。**水素・アンモニア**などを使ったエネルギー活用、**CO₂回収**やエネルギー源としての利用などに関する研究を推進する。再生可能エネルギーの活用をベースとすることでカーボンニュートラル、さらにはネガティブエミッションが実現可能なことを実証し、その展開によりサステナブルな社会の実現に貢献する。

放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用分野

ウエル・ビーイングへの貢献を目指して、**放射線利用**に関する基礎研究に加えて、**医療**のみならず農業、工業分野での**産業利用**を見据えた技術開発を推進する。医療分野では放射線レーザーを利用した**診断技術の開発**や、放射線標識化合物による**がん標的薬の開発**、農業および工業分野では放射線を利用した**計測科学研究**と技術開発を推進する。

原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野

原子力災害の**被災地**において**自然環境**や**地域社会**について**調査と分析**を行い、地域の**安全性**を高めるための**科学的知見の蓄積**と**発信**を行う。あわせてF-REIの研究成果を活かして、地域の活性化と**コミュニティの合意形成**を推進することで、**人々が共生するレジリエントなまちづくりに貢献**する。

Mission

ミッション

福島から未来を切り拓く

Create a bright future from Fukushima

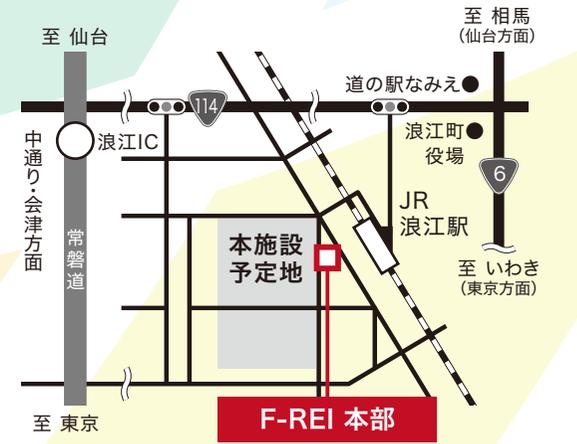
- 研究開発とその成果の産業化を核に「創造的復興の中核拠点」となる
- 新産業の創出を通じ、我が国の産業競争力強化の一翼を担う

新施設イメージ



※上記はイメージパースであり、今後の設計で変更となる可能性があります。

施設立地



のVision

ビジョン

当面のビジョン

- 福島だからこそ挑戦できる研究で地域課題解決と価値創造による地域創成を実現する
- 科学技術と地域発展を担う次世代の人材を育成する

中長期的なビジョン

- 福島のイノベーションモデルを国内のみならず世界に展開し、世界共通の課題解決に貢献する

福島ならではの、F-REIならではの 研究所づくりに貢献したい

研究開発推進部 研究開発推進第二課 調査役
金平 克史さん

F-REIでどんなことをしていますか？

私は農林水産業分野を担当しています。研究施設の検討、これからF-REIと一緒に研究していただく好奇心や探求心の強い優秀な研究者を集める人材確保業務などの研究サポートのほか、外部で平行して行っている委託研究の進行管理を行っています。

福島県浜通りにおいて、新しい研究所を一から作り上げるという貴重な活動に参加していることに、大きな喜びと期待を感じています。

F-REIで働くうえでの心構えを教えてください

福島の地域課題は、国内外においても共通する課題を持った地域がたくさんあります。その中から重要な地域課題を見つけ出し、研究成果から生まれた技術を使った社会実装のモデルを構築して、同じ課題を持つ国内外の課題解決につなげる仕組みづくりが大事だと考えています。

研究に関心があり、地域に貢献したい気持ちを持った人材が、地域の産業に関わる中で自ら課題を見つけ、研究し、経験豊富な研究者がそれを支える体制を作りたいと思っています。

福島とF-REIのためにできることは何ですか？

課題を抱えた現場に近い研究所であることがF-REIの強みだと思っていて、直面する地域課題を間近で見ることが、他の研究所ではなかなか叶わないことです。研究者の視点に立ち、探求心を深めることができるより良い研究所を作り、それによって福島県の復興とF-REIの未来に貢献したいと思っています。

Value

バリュー

一人一人がF-REIを動かす原動力であるという自覚をもって、5つの力を最大限発揮して行動する

「未来をつくる行動の力」

研究成果をインパクトあるイノベーション（社会実装）につなげることを意識して自ら行動する

「常識を超える挑戦の力」

前例にとらわれず、新たな可能性を求めてチャレンジし続ける

「多様性と連携の力」

多様な人々と手を取り合い、ともに未来をつくる力を信じる

「開かれた対話の力」

壁を作らず、自由なコミュニケーションの中でともに学び、成長する力

「地域の信頼を得る力」

新たなまちづくりの中で共生していくために地域との相互理解を深める

研究者と協力し 研究成果の向上を目指す

研究開発推進部 研究開発推進第二課 リサーチ・アドミニストレーター
チャンドゥラー ピンナワラさん

F-REIでどんなことをしていますか？

専門職(リサーチ・アドミニストレーター)として勤務して1年が経ちました。私はF-REIが行う、原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野に関する研究環境や研究体制の整備をはじめ事務的なサポートに従事しています。

他には、研究成果の発信や、国内外の外部関係者と幅広く協働できるよう、英語での国際的なコミュニケーションを支援することが私の業務です。

業務の幅も責任も広いですが、そのおかげで仕事にメリハリが生まれ、やりがいにも繋がっています。

仕事を通じて気づいた事はありますか？

2024年の夏に、いわき市で小学生とその保護者向けの科学実験ワークショップを開催しました。そこで、小学生が日ごろから放射線について学習し、理解しようとしている姿を見て、とても驚きました。このようなワークショップでの体験を通じて、若い方々にF-REIの取組や研究内容を知ってもらう、理解してもらうことが、私たちの目指す「未来をつくる行動の力」に繋がると感じています。

また、福島復興に向けて、国内外の専門家、学術機関、研究機関、地方自治体、そして国際的なパートナーとの協働は欠かせません。さまざまなバックグラウンドや専門知識を持つ人々が一つの目標に向かって協力することが「多様性と連携の力」に繋がるのだと確信しています。

今後の目標を教えてください

母国のスリランカでも2004年のスマトラ沖で発生した大地震と津波により、甚大な被害が生じました。被災者の気持ちが理解できるからこそF-REIでできることがあると考えています。私自身も自己研鑽に励み、F-REIで行われる研究と福島復興のために貢献したいと思っています。

F-REIでつかむ キャリアピース



F-REIでは、業績や自己のキャリアを見据えたF-REIでしか
将来に向けて価値ある経験を積み、成長

できないチャレンジングなキャリアチェンジが可能です。
することができる環境を整えています。

2026年4月採用職員募集要項

主な業務内容

【研究開発推進】

最先端の技術や革新的なアイデアに直接触れることができ、未来を形作る技術の一端を担うことができる業務。特にF-REIが行っていく研究開発においては、研究ユニットとともに常に新しい知識や技術を学び続けることが求められるため、自身の成長を実感できることに大きな魅力がある。

【国際・産学官連携】

海外を含む企業、学術機関、金融機関、政府機関など多様なステークホルダーとの協働により、異なる視点や専門知識を学び広いネットワークを築けることにやりがいがある業務。中長期的な目線で、新しい技術やアイデアを実現し、社会的な課題を解決するための橋渡し役としてイノベーションを推進する役割を担い、社会に貢献できる実感を得られる点が魅力。

【財務・経営企画】

常に未来を見据えた計画を立て、組織の中長期的な成長と発展に貢献する業務。財務分析、マーケットリサーチ、プロジェクトマネジメント、広域連携など、多岐にわたるスキルを駆使して業務を遂行する。他部門との連携が不可欠で、協調性を始めとしたチームワークの重要性を学ぶことができるほか、自身のスキルセットを広げ成長を実感できる仕事。

募集職種

運営管理部門職員

雇用形態

フルタイム正規職員

募集対象

2025年4月以降又は2026年3月に卒業見込みの方
(高校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院を対象とします。また、2023年4月～2025年3月に卒業された方も募集の対象とします。)

勤務時間

8:30-17:15を基本的な勤務時間とする(12:00-13:00 休憩時間)。

福利厚生

完全週休2日。有給休暇20日(採用初年は最大15日間)の取得が可能。その他、国家公務員に準じた特別休暇あり。当機構による宿舍の貸与あり。

諸手当

通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当、期末手当、勤勉手当など各種手当制度あり。

採用までの流れ

STEP 01 1次選考：書類選考



STEP 02 2次選考：実地審査(面接・適性検査等)

STEP 03 3次選考：実地審査(面接等)

STEP 04 内定



採用について詳しい内容はこちら
HPの採用情報のページよりご確認ください。



職員が語るF-REIの職場



働き方

- Q.** どのような働き方がありますか
- A.** 完全週休2日制で、仕事とプライベートにメリハリがあります。また、テレワークやフレックスタイムでの勤務をうまく取り入れている職員もいます。

雰囲気

- Q.** 職場の雰囲気を教えてください
- A.** 会話も多く、上司・同僚に仕事やプライベートの相談をしやすい職場環境です。



人間関係

- Q.** 職場以外で、職員と関わりはありますか
- A.** スポーツクラブに通う、週末にテニスやゴルフに行く、終業後に懇親会を行うなどをしています。

SDGs

- Q.** SDGsへの取り組みはどんなものがありますか
- A.** 福島をはじめ東北の復興を前進させるとともに、持続可能な開発目標の実現など世界共通の課題の解決を目指しています。

必要な資格

- Q.** 必要な資格・免許・検定などはありますか
- A.** どなたでも応募可能です。ただし、英語をはじめとした外国語力、研究や開発などに必要な資格を有することで仕事の幅が広がります。



スキル・成長

- Q.** 身につくスキルはありますか
- A.** 研究者など多くの専門的な方々と関わるので業務に必要な新しい知識やスキルを身につけることができます。

よくある質問

1 通勤はどうしていますか？

浜通りの各地から通っている職員が多く、JR浪江駅からは徒歩10分圏内に職場があります。車で通勤する職員には無料駐車場を完備しています。



2 有給休暇以外の休暇はありますか？

国家公務員の休暇制度に準拠し、様々な特別休暇を設けています。また、育児を支援する取り組みとして、養育支援休暇なども新設しました。



3 役職員数と全体の男女比はどのくらいになりますか？

およそ80名ほどの役職員数で、男女比は3:1です。



4 入社後の配属先はどのように決まりますか？

1人ひとりの希望や適性を勘案し、配属先を決定しています。



5 研究機構なので、文系の学生は入れないですか？

文系の職員もたくさんいます。興味・好奇心があり、F-REIで成長していこうとする気持ちを持って応募してください。

